

昭和四十四年度「佐伯史談」総目次

No.48~No.59

河野共一 共編

主張・論説

- 郷土史研究の方向態度……羽柴 弘 49
- 文化財の保護保存と十三重塔高野喜助 54
- 佐伯文化会館への期待……羽柴 弘 51
- 三の丸御殿について……小野英治 57

研究

- 郷土佐伯の碑文(其の三十一) 益田 学 46
- 志魂 碑(八幡井聖母寺) 佐賜貫一 49
- 澄龍寺のまは誰か……佐賜貫一 49
- 佐伯の港はどんな働きを……市野順 仁 46

- 山町の古市港 49
- 山土屋産港 49
- 船頭町河岸 49
- 磯 49
- 田原 49
- 葛港(一) 49
- 葛港(二) 49
- 佐伯港(三) 49
- 佐伯港(四) 49
- 佐伯港(五) 49
- 佐伯港(六) 49
- 従尾東佐伯領……高木 泰吉 49
- 佐伯氏と梅牟礼城……佐賜貫一 49
- 聖山の五輪塔……高木 泰吉 49

資料・研究

- 佐伯湖市三百年祭……山田平之丞 48
- 佐藤鶴谷著作目録……阿部克己 49
- 鶴港遺聞……平田幸市 49
- 佐伯藩藩政録目録……山田平之丞 49
- 旧藩御役名及階級……平田幸市 49
- 佐伯藩藩政録目録……山田平之丞 49
- 佐伯藩の四大井路……山本 保 49
- 横川八景……山下貞男 49
- 米一俵の価格……平田幸市 49
- 志魂 碑……山本 保 49
- 故郷物語・山田俊卿先生……山田平之丞 49
- 天の綱馬大長寺物語……野川比と志 49
- さか北のく「ヨリヤリ」……野川比と志 49
- 籠「西南の役と黒沢」……山本 保 49
- 佐伯藩の領域……佐賜貫一 49
- 西南戦争と佐伯……山本 保 49
- 庄屋之書に見る西南戦争……深矢勘藏 49
- 神息の太刀……近藤 三義 49

研究

- 佐伯藩の林業……小野英治 49
- 雷尾権現と御霊信仰……佐賜貫一 50
- 七公行く堅田路の感考……岩田 正城 50
- 神仏合祀考……高橋 智 51
- 佐伯藩に於けるキリシタン資料について 眞柴 沙 51
- 毛利高政と石川康長……佐賜貫一 52
- 佐伯氏と伊豫地の關係……佐賜貫一 53
- 獨歩と佐伯……山本 保 52
- 浜後井路の開墾……高橋 智 53
- 毛利高政の医術……佐賜貫一 54
- 水の子登台……高野 喜助 54
- 佐伯教育の歴史的時代……山内武藏 56
- (一) 旧藩時代から明治初年まで……56
- (二) 明治初期の学校教育……57
- (三) 明治の九年常小學校……58
- (四) 高等小學校の沿革……59
- 田原坂崇徳碑……益田 学 52
- 神息の太刀……高木 泰吉 50
- 二つの造林記念碑……山本 保 50
- 毛利高政とキリシタン……佐賜貫一 51
- 耕地整理記念碑……山本 保 52

- 布衣多き年……伊賀重雄 49
- 西土南役余聞……石田靖一 49
- 自轍車と西洋料理……石田靖一 49

故里の春のよそおひ……………羽柴 弘 51
 番匠の歴史に憶う……………木田 長 51三
 軽井沢大炊頭……………山本 保 51三
 移りゆく世の姿……………羽柴 弘 52一
 御土交遊求の態度……………羽柴 弘 52一
 西谷の武家長屋門が動く……………羽柴 弘 52四
 三の丸の御殿の保存について……………高木 嘉吉 52一

探訪記録

墓と社と瓦……………安部 力 52五
 豊後愛宕神社参拜と……………羽柴 弘 52六
 岩戸神社と鶴の記……………羽柴 弘 52六
 渡町から女島長島と巡る……………高橋 智 52七
 日山少理権現由来記……………高橋 智 52七
 木立藪 記……………高木 嘉吉 52五
 下又野蛇洞(高橋山下)と巡る……………高木 嘉吉 52五
 白坪の墓地をめぐる……………高木 嘉吉 52九
 竹田から高千穂の古跡と巡る……………高木 嘉吉 52九
 文化散策の旅として……………伊賀 重雄 52九
 相 江 港……………岩田 善市 52六
 統緒留置物誌……………山本 保 52三
 大分那振開地を巡る……………河野 兵一 52三
 大分市近郊の文跡と……………高木 嘉吉 52五
 伊勢神宮宝物展見存……………高木 嘉吉 52六
 直川の甘里横川赤木を巡る……………羽柴 弘 52六
 佐伯湾を船で巡る……………高木 嘉吉 52一
 石神峠を往く……………高木 嘉吉 52一

藤河内から北川……………羽柴 弘 52八
 大野郡を歩く……………高木 嘉吉 52九
 飛行機物語……………山内 武藏 52六
 孫左衛門と「従軍東佐伯願」休石博美……………52八
 弥生所指定文化財の公示……………伊賀 重雄 52三
 佐伯の歴史と文化を語る会……………52八
 国東半島に公教文化を訪ねて……………52九
 中村家訪問記……………52二

書籍・雑誌

三思庵の千手観音像……………青木 勝 52六
 お島遊と迎え左日……………新土 秋仙 52五
 相岸礼物語……………高橋 智 52六
 同……………高橋 智 52九

集會記録・其の他

年末集會の記……………52三
 新春初巡り・堅田常楽寺へ……………52三
 新年度評議委員会の報告……………52三
 昭和四十二年度決算報告……………52三
 昭和四十四年度修学費予算書……………52六
 昭和四十四年度役員名簿……………52六
 佐伯史談会規約……………52九
 俳句 借方竹田高千穂へ……………吉田 雅 52二
 海防寺から高畑を歩く……………52五
 会 員 名 簿 (四四二、二五五現在)……………52五

(註) 毎月(月号) 最終頁の、集會案内、賛助寄附
 役員、新入会員紹介等は除いたが、二三
 の位置がどうかと思われるものが出来たが
 そのままとした。
 ◎この二頁は、本号より抜いて、昭和四十四年
 分の激りの前に、索引用としてつけていた
 若くは考してもある。或は索引目次とし
 ては、利口刷ってあるので希望者はさし
 上げます。

佐伯史談 今昔製本巻

前号誌分(一月十二月) 四十八号から第五十九
 号まで揃いましたので、別冊の通り、各冊製本を
 します。
 一 志全部綴りをばすし、紙と紙をく切り、は
 じりばりの目次をつけて綴じ、表紙をつけてガッ
 チりしたものに製本します。背もつけて標題を貼
 りますので、一志立派な本になります。
 枚数費一分二の田舎員担任して下されば、おと
 は奉仕します。但し仕事のみま〜に致しますの
 で一週間はかかります。
 昭和四十年からこれでは五冊そろいまして左ので、
 立派に書架に並べて愛用が出来ます。もし通年成
 分そのまゝの方は、出来れば一冊に何冊か致しま
 すと、そろったものが出来ます。遠慮なくお持ち
 越し下さい。
 尚、仮の号若干つつ成部があります。『巻五号』
 背に最近の入会の方にはさし上げられます。遠方
 の方は送料負担下さい。
 414 415 416 417 418 419
 (佐伯製本館 高橋智) (羽柴)